

『私は、いつまでも主の家に』 詩篇23篇1～6節 2018.10.28 聖日礼拝説教より

『まことに、私のいのちの日の限り、いつくしみと恵みとが、私を追って来るでしょう。私は、いつまでも、主の家に住まいましょう。』 詩篇23篇6節

詩編23篇は、その背景を知ってこそ本当の意味を知る。荒野で迷い、命の危機におびえるはずの羊(ダビデ、そして私たち)が「乏しくない、恐れなく、満たされている…」と言えるのは、「主よ、あなたが私の羊飼いです。いつも私と共に」という信仰を決心したから。

❶まことの神を知り、心を決める…「私」が主語の信仰告白は4つ。「私は乏しいことがない、災いを恐れなく、杯はあふれている」そして「私は、いつまでも主の家に住む」。最初の3つは「状態」、最後は「行動」を告白！私たちは、神がどういってお方で何をされたかを知って初めてこの方を信頼して人生を預ける決心をする！この方は、私の乏しさ辛さの全て知り、暗闇の旅路を導かれる。恐れや不安を解消し、溢れる恵みで満たす方！人生は「まさか」の連続。ダビデも、ある時は命を狙われて逃げ回り、ある時は、自分の罪(姦淫と殺人)の故に愛する子どもを失い、ヨブも突然の試練に遭い、パウロも生涯、病に苦しんだ！神を信じているのに何故こんな目に…！神の計画もあるが、悪魔の誘惑も！そこから抜け出すには？私たちには、魂を生き返らせ、義の道に導き、災いの道であなたを守る方がおられる。その臨在の安心感、信頼感を徹底的に魂に刻み込まれたからこそ、「あなたが私とともに」と叫べた！★あなたが知っている主は、どんなお方？

❷あなたから離れない(6節)！…神の救いは「絵に書いた餅」ではなく現実！「いつくしみ」とは愛する者への「神の好意」、「恵み」とは「変わらず一貫した愛」！「追いかけて来る」とは、気がつく、いつもそこに！★私たちは問題にぶつかるたびに臨在の事実を忘れて落ち込む。忘れなければ揺るがない！気がつく、魂は居眠りし、御心から離れ、ペテロのように、主を否定する！『誘惑に陥らないように、目をさまして、祈り続けなさい。心は燃えていても、肉体は弱いのです』マルコ14:38。「住まいましょう」は「帰る」の意も。神の恵みなしには生きられない弱い自分を忘れず、主の言葉に立ち返りたい！「わたしを離れては、あなたがたは何もすることができない」ヨハネ 15:5。

★「主よ、あなたが私と共に」！この信仰があれば、人生の選択で迷うことなく、試練の日々で、神の愛を疑うことなく、暗闇の不安の中でも、主の慰めと恵みを見失うことがない。いつもこの主の許に立ち返り、恵みの家に住み続ける者でありますように。